

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



薬剤散布は降雨の前か？後か？



- GW終盤から天気が不安定となり、**薬剤散布のタイミング**に苦慮しています。
- シャインマスカットを栽培する某農家の事例です。5月7日段階で、生育が早い栽培樹で展葉9枚、遅い樹で7枚ぐらいです。
- **5月4日**にべと病・黒とう病防除用にオーソサイド水和剤80 800倍を散布しました。次回は10日後の**14日**を予定していました。
- 週間天気予報によると13日以降**雨天**が続きます。降雨により雨媒伝染性であるべと病・黒とう病の**感染の可能性**が高まります。
- 次回散布は、天候が回復する17日を待たずに**降雨前の11、12日**に早めに実施し、**感染予防**に徹するのが適正と考えられます。



図. 週間天気予報 (5月7日時点)



rou引きカサ紙の表裏



- 長年、**rou引きカサ紙**をブドウにかける際には、rou引き面は**上に向ける**ものと思っていました。その理由は、雨を良くはじくためだからです。
- しかし、ブドウ栽培の関連サイトでは、rou引き面を**下に向ける**方式も多く見受けられます。
- そこで、かける面をどちらかの方向に変えて**影響**をみました。その結果、確かにrou引き面を上に向けると**ざらざらした面**が下にくるので、**果粒表面にこすれ傷**の発生が認められました(写真)。
- 特に、幼果時に風が強い園のシャインマスカットでは目立ちましたが、黒系ブドウや摘粒時に落としてしまえば気にならない様に感じられました。



写真. 果粒表面で見られたこすれ傷(シャインM)